

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 10月 5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100113
法人名	医療法人木村外科内科
事業所名	グループホームきむら
所在地	鹿児島県鹿児島市石谷町2105-3 (電話) 278-0058
自己評価作成日	平成22年06月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4673100113&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人福祉21かごしま
所在地	鹿児島県鹿児島市真砂町54-15
訪問調査日	平成22年08月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・住宅地を見下ろす高台に位置している為景観がすばらしく季節を感じながら利用者の方々と生活し又職員同士も仲がよくいつも笑顔で接している。
- ・利用者やご家族の方に安心してしていただく為に日々の健康管理や緊急時の対応など医療の体制が整っている。
- ・地域の方々や地域の子供達との交流を年に数回行っている。ホーム内外の清潔に勤めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・眺めの良い広い敷地があり、入居者の外気浴や散歩が日常的に行われ、精神安定につながっている。理念の「地域の方々やご家族とのつながりを大切にします」が地域にも浸透しており地域のボランティアがホームの行事や清掃、活動に参加し、また日常的な交流も盛んであり、入居者の楽しみや穏やかな暮らしを支えている。

○医師との連携

医師である理事長が介護職や看護職の照会に対して細かく回答し、入居者の健康管理に結び付けられ、隣接された母体病院との24時間体制による連携によりご家族、職員の安心感につながっている。

○本人と共に過ごし支え合う関係

お一人お一人の想いを大切にしますという理念を職員が常に意識し、自家菜園も農業経験のある入居者から指導をうけ、入居者の尊厳を大切にした介護が行われている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域との関わりを大切にしながら事業所独自の理念を作りあげている。入職時には必ず、理念理解してもらうようオリエンテーションの中に入れて込んでいる。	理念には「地域の方々やご家族とのつながりを大切にします」などの言葉を含み、地域に根ざしたサービスを意識できる内容が盛り込まれている。理念を掲示するとともに、入職時のオリエンテーションやミーティングの中で実践にむけて具体的に話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年1回のバーベキュー大会の開催や地区の子ども会との交流（七夕飾りづくり・餅付き大会など）又ボランティアの受け入れや野菜づくりに関する事を通して地域との交流を図っている。	町内会に入会し、回覧板の受け渡し、清掃活動や催しごとに参加し、公園等へ散歩で出会う地域の方へのあいさつや声かけなど日常的に交流している。学校等との交流会や民生委員協議会等のボランティアの受け入れを行っており、地域との関係づくりに力を入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成の為実習生の受け入れを積極的に行っている。（中学生職場体験学習・高校新人教諭の研修		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	出席者には地域御家族公的機関の方をお呼びしていろいろな観点からのご意見や要望を頂き全体会議で報告や改善策の検討を行い周知徹底できるように取り組んでいる。	民生委員、家族代表、社協支部長、公民館長などの参加があり、2ヶ月に1回開催されている。事業所行事等の報告のみではなく、出席者の意見や助言などがあり、有意義な会になっていることが議事録より確認できる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	年1回の介護相談員の受け入れによりその中で入居者様からの要望等を真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでいます。	介護相談員の受け入れを行い、頻繁に市担当窓口や福祉事務所などへ事務手続きやその他の機会に訪問し問題や事故や認定手続きなどの情報交換を行っている。急な入居にも対応できるよう協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束排除宣言を掲げ年1回勉強会を開催し又職員の外部研修の参加により報告会等おこない意識を高めている。	マニュアルや職員倫理を作成し研修を行い、玄関をはじめ各居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援を職員の努力で実現している。職員は常に利用者の状態を把握し、外出されるときにはさりげなくついて出たり、見守りを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	随時勉強会開催や職員と管理者の面談を行い職員ストレス解消や意識を高め防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年間研修計画に掲げ必要時には対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には重要事項説明書及び運営規定など時間をかけ十分に説明を行い又本人やご家族からの筆問事項に対しても丁寧に対応している。解約時も本人御家族と十分な話し合いを持ちご理解をしていただけるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱の設置や面会簿を利用してご家族が意見や要望を伝える機会が多くなるようにしている。全体会議の中で話し合い問題解決できるようにしている。	個別のお便りで状況を報告するとともに重要事項説明書に相談窓口を記載し、面会簿に要望欄を設け、家族が意見や要望を表しやすいような工夫と配慮が感じられる。職員が苦情などを把握した時には苦情処理受付簿や介護記録で情報を他の職員と共有し、必要の場合は職員会議で話し合い、本人や家族に報告するなど速やかな解決を図っている	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の全体会議の中で意見・要望などを発表し情報の共有や改善に取り組んで必ず報告書（改善策）で職員全員に確認の捺印を貰っている。	理念等運営に関した部分も職員の意見や提案をすいあげ検討している。朝礼、ミーティング時に勤務体制などの話し合いを持ったり、管理者は職員から気軽に声をかけられやすい雰囲気づくりに心がけている。また悩みがありそうな職員には個別面談を行い問題解決を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎月の勤務実績を検討し、残業が発生しないように、会議などの勤務時間内での開催や人員補充等を行っています。介護職の研修案内を呈示し、研修受講を遂行しています。交付金の申請を行い、給与水準の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職時にオリエンテーションの記録報告書記入し提出する流れを確立している。各研修は内容に応じて管理者等と検討し参加の機会を業務内で提供している。又報告会の中で意見交換や事例検討を行い業務に生かしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同施設と地域ケア会議や運営推進会議に招待し合い交流の機会としている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回相談からご本人、ご家族のめんだんの機会を大切にし、その方の心身状況をいち早く察知しより多くの情報収集を行い、理解できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の見学対応や面談を通して相談内容や背景をいち早く把握し理解できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な利用者には柔軟な対応を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の大先輩であることを念頭において食事の時間や親の時間などを利用しいろいろな知恵などを教わっています。このような機会を多く持つように声掛けを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	有事の際には必ず電話連絡をしており、定期的には毎月のホーム便りにご家族への連絡のコーナーを設けており、担当者から様子などをお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	入居者の状況を勘案し必要に応じて面会の依頼や外出やお手紙で提案を行い御家族等に協力を頂ながらなじみの関係の構築に努めている。	入居者台帳や面会簿を活用し、利用者を支えてくれていた人間関係を把握するとともに、関係を継続できるよう面会、電話の支援や、墓参りやなじみの美容院などの外出支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	意見の相違やトラブルが起こらないようにチームで話し合い、方針を明確にして対応している。必要時はテーブルの配置換えもおこなっている又談話には職員がムードメーカーとして楽しく過ごせるように調整役を担っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後は落ち着くまでは定期的に訪問や電話連絡などを行い退去者にも行事参加の声掛けをし交流を続けている。又担当のケアマネさんへの情報提供やれんけいの強化を図っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で常に声掛けを行い又、時間を作り入居者の方と向き合い話を聞くようにしている。その方の言動や表情をよく観察し思いを汲み取るように努力している。	利用開始前に本人や家族、関係者からどのように暮らしたいかを聞き、アセスメントシートなどに記載し、介護計画に活かしている。入居後は日々のかかわりの中で本人の意向をくみ取り、ケア会議などの場で職員間の共有をはかっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や御家族からの聞き取りを十分に行い、又自宅訪問や関係機関との連携を図るなどを行いより多くの情報を得て利用者の理解に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各人日常の過ごし方に個性があり個人個人のパターンを理解し、情報を全員で共有しながら、自然な形で見守り援助ができるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要時カンファレンスを行い、問題解決の方向性を職員全員で共有しながら解決までそれぞれの意見やアイデアを取り入れてケアプランを作成し定期的及び必要時にモニタリングを行っている。	家族も参加した担当者会議を開き話し合いながら計画を作成している。また、ミーティングで介護支援専門員と職員が話し合い、介護計画を作成し、生活記録にケアプランを記載することにより、職員はすべての利用者の介護計画を意識して日常の介護を行っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	そのつど利用者の状態変化などを詳細に記録し、その記録を元に票評価を行いみなおしを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の要望または状況に応じて、随時対応し又ご家族への連絡報告等も行い、柔軟な対応や協力体制に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの方々と年に数回の交流を持ち、野菜作りに関する（土作りや肥料や草取りや収穫祭）などを一緒に行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や通院は利用者やご家族の希望に応じ代弁を含む支援を行っており、ほかの医療機関（歯科受診など）も連携を取っている	かかりつけ医は入居前からかかっている医療機関に本人や家族の意向を大切に決めていく。訪問治療受診時も適切な治療が受けられるように介護職と看護職が記載する生活記録等で情報提供に努めており、良い関係がつけられている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム看護師や医療連携担当看護師に状況報告や医療面の相談をし、生活の中での保健指導や対応の仕方の指導を受けながら、利用者に対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の地域連携室担当者へ情報提供を送り又入院時の状況把握のため、病院訪問を行い必要時はMSWへ連絡等取りながら病院化えら直接ホームへ帰居できるように取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に書面にて重度化や看取りの対応指針を説明し同意を頂くと共に、対応指針を一部お渡ししている。同敷地内に医療機関があり、重度化の時点で主治医・医療連携看護師・職員を含め、ご家族の方針を共有し取り組んでいくようにしている。	重度化や看取りに対する対応指針を定め、家族に説明し同意をもらっている。また、その後も本人や家族、かかりつけ医と相談し職員の共有も図っている。母体病院と24時間体制で連携がとれ本人、家族の安心感につながっている。	事業所では次のステップとして医師、看護師、管理者、介護職がより一層看取りについて理解が深められるよう研修や話し合いを重ねていくことを計画している。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホームにAED設置がしてあり、毎月ミーティングの際に取り扱い実施の研修を行っている。又年に1回は専門業者によるレクチャーも行っている。年2回救急蘇生法の研修も行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は消防署の協力を得て避難訓練（昼・夜間想定）避難経路の確認・消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている。地域の方の助言により各ユニット内に拡声器の設置を行っている。	夜間を想定した避難訓練や消火訓練を行うとともに、非常災害時の必要な備品の管理を行い、マニュアルを作成し研修にも取り組んでいる。地域住民には回覧板で理解を呼び掛けた結果、協力して災害対策を行う体制が構築されつつある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人的環境的要因を適切に把握する努力をし、個々人にあった対応を心がけている。入職時オリエンテーションで個人情報保護について研修を行い、誓約書に署名捺印を貰っている。	方針や職員倫理を掲示しそれらの研修を行っている。利用者への言葉かけは十分注意しており自己決定しやすいよう配慮している。また、記録等は事務室の鍵のかかる棚に保管し外来者の目につかないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定を促す場合には開かれた質問形式で、自己決定がしやすいように職員全員に指導し実施している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の言動を最優先しながら日常の支援を個別的に行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣時や入浴前には御自分で何を着たいのか、衣類の選択がしやすいように職員は見守りを行い衣服のバランス等の調整を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は有るがその日に食べたいものの確認を行い希望があれば献立の変更を行い、又 茶碗やお箸や湯のみは在宅時に利用していたものを引き続き利用していただいている。	テレビを見ながら食事の希望を聞くなど食欲を引き出す工夫をしたり、自家菜園の旬の食材を利用し、配膳、下膳を一緒に行うことで食への興味を持ってもらうようにしている。食事は職員も一緒に会話を楽しみながらとられている。また毎食後歯磨き等行い、口腔ケアにも気を配っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時の摂取量の把握と記録を行っている。又毎週日曜日に体重測定を行い増減については管理者や主治医に報告を行い、指示に対応している。一日6回は確実に水分補給を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛け誘導を行い個別にたいおうしている。就寝前には義歯の洗浄や洗浄剤に保管した口腔内の状態の確認も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツ使用の方も排泄チェック表にてご本人の排泄パターンを知り、それに応じた排泄誘導を日夜行っている。	生活記録に細かく時間が記載された排泄チェック表があり、それを利用して本人の排泄パターンの把握に努め、残存能力の向上に配慮した自立にむけた介護が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの取れた食材を（繊維質の多い野菜や海藻類・乳製品）取り入れおり、運動は散歩や毎日の生活リハに取り組んでいる。又排便確認を毎日行い、便秘の方には職員や医療連携看護師が主治医の指示の下、対応している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ゆっくり時間をかけて個別に対応し、入浴中に手すりをつかみ運動をして頂いている。	体調や希望により入浴やシャワーなどの対応が毎日できる。入浴を嫌われる方にはできるだけ声かけのタイミングや入浴剤の使用など工夫し、気持ちよく入浴してもらうよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個人差があり、深夜までテレビを見たり又、暖かい飲み物などをお出しして眠れる時間まで一緒に過ごし話相手となり不安の除去に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者各人の服薬内容が簡単に確認できるようにファイルを作成している。服薬は3回確認のルールを作り、一人分ずつ手に取り、誤薬防止に努めている。法人では医療介護安全対策委員会の中で意識を高めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の得意な事を把握し、個別の役割分担を行い、終了時には感謝の気持ちを必ずお伝えする事にしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	短時間の外出は職員と出かけている。又個別の墓参りなどについては、ご本人の要望があった場合はご家族へ報告と相談を行い、実現できるように援助を行っている。	敷地が広く天気の良い日は散歩等の外気浴が行われている。また、本人の希望に応じて買い物、ドライブなど戸外に出かけられるように配慮し、気分転換やストレス発散、五感刺激の機会として外出の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近隣にスーパーやコンビニエンスストアができた為に以前より簡単に買い物外出ができるようになっている。預かり金の中からご本人がほしいものを選んで買えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	気軽に電話を利用できる雰囲気作りをしており、電話中はそつと席をはずすなど配慮を心がけている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物は眺めがよく、日当たりもいいので、カーテン等により日当たりの調整を行っている又季節の花や観葉植物を設置し集団手作業で作成した作品や行事写真も飾っている。	眺めの良い広い敷地はとても気持ちよく、建物内の共有空間には絵画や観葉植物が飾られている。リビングや和室は思い思いにくつろぐことができるスペースが確保されている。リビングは日差しが差し込み明るく、心やすらぐ家庭的な雰囲気がただよい、落ち着いた居心地よい空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや和室があり各人が思い思いに安全に過ごせるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れたもの（家具や装飾品など）を居室に置き、住み慣れた環境に近いものになるようにご家族にも協力を頂いている。又居室担当者は細かい部分の環境整備に努め情報を共有している。	家族とも相談し、一人ひとりの希望や状況に応じて位牌、家具、テレビ、椅子、ぬいぐるみなど馴染みのある物が持ち込まれ居心地のよい空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は全てバリアフリーになっており要所には手すりの設置やトイレは自動照明で、安全確保に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 きむら（さくら）

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 きむら（さくら）

66	職員は，活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域との関わりを大切にしながら事業所独自の理念を作りあげている。入職時には必ず、理念理解してもらうようオリエンテーションの中に入れて込んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年1回のバーベキュー大会の開催や地区の子ども会との交流（七夕飾りづくり・餅付き大会など）又ボランティアの受け入れや野菜づくりに関する事を通して地域との交流を図っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成の為実習生の受け入れを積極的に行っている。（中学生職場体験学習・高校新人教諭の研修		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	出席者には地域御家族公的機関の方をお呼びしていろいろな観点からのご意見や要望を頂き全体会議で報告や改善策の検討を行い周知徹底できるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	年1回の介護相談員の受け入れによりその中で入居者様からの要望等を真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでいます。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束排除宣言を掲げ年1回勉強会を開催し又職員の外部研修の参加により報告会等おこない意識を高めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	随時勉強会開催や職員と管理者の面談を行い職員ストレス解消や意識を高め防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年間研修計画に掲げ必要時には対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には重要事項説明書及び運営規定など時間をかけ十分に説明を行い又本人やご家族からの筆問事項に対しても丁寧に対応している。解約時も本人御家族と十分な話し合いを持ちご理解をしていただけるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱の設置や面会簿を利用してご家族が意見や要望を伝える機会が多くなるようにしている。全体会議の中で話し合い問題解決できるようにしている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の全体会議の中で意見・要望などを発表し情報の共有や改善に取り組んで必ず報告書（改善策）で職員全員に確認の捺印を貰っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎月の勤務実績を検討し、残業が発生しないように、会議などの勤務時間内での開催や人員補充等を行っています。介護職の研修案内を呈示し、研修受講を遂行しています。交付金の申請を行い、給与水準の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職時にオリエンテーションの記録報告書記入し提出する流れを確立している。各研修は内容に応じて管理者等と検討し参加の機会を業務内で提供している。又報告会の中で意見交換や事例検討を行い業務に生かしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同施設と地域ケア会議や運営推進会議に招待し合い交流の機会としている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回相談からご本人、ご家族のめんだんの機会を大切にし、その方の心身状況をいち早く察知しより多くの情報収集を行い、理解できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の見学対応や面談を通して相談内容や背景をいち早く把握し理解できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な利用者には柔軟な対応を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の大先輩であることを念頭において食事の時間や親の時間などを利用しいろいろな知恵などを教わっています。このような機会を多く持つように声掛けを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	有事の際には必ず電話連絡をしており、定期的には毎月のホーム便りにご家族への連絡のコーナーを設けており、担当者から様子などをお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の状況を勘案し必要に応じて面会の依頼や外出やお手紙で提案を行い御家族等に協力を頂ながらなじみの関係の構築に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	意見の相違やトラブルが起こらないようにチームで話し合い、方針を明確にして対応している。必要時はテーブルの配置換えもおこなっている又談話には職員がムードメーカーとして楽しく過ごせるように調整役を担っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後は落ち着くまでは定期的に訪問や電話連絡などを行い退去者にも行事参加の声掛けをし交流を続けている。又担当のケアマネさんへの情報提供やれんけいの強化を図っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で常に声掛けを行い又、時間を作り入居者の方と向き合い話を聞くようにしている。その方の言動や表情をよく観察し思いを汲み取るように努力している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や御家族からの聞き取りを十分に行い、又自宅訪問や関係機関との連携を図るなどを行いより多くの情報を得て利用者の理解に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各人日常の過ごし方に個性があり個人個人のパターンを理解し、情報を全員で共有しながら、自然な形での見守り援助ができるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要時カンファレンスを行い、問題解決の方向性を職員全員で共有しながら解決までそれぞれの意見やアイディアを取り入れてケアプランを作成し定期的及び必要時にモニタリングを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	そのつど利用者の状態変化などを詳細に記録し、その記録を元に票評価を行いみなおしを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の要望または状況に応じて、随時対応し又ご家族への連絡報告等も行い、柔軟な対応や協力体制に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの方々と年に数回の交流を持ち、野菜作りに関する（土作りや肥料や草取りや収穫祭）などを一緒に行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や通院は利用者やご家族の希望に応じ代弁を含む支援を行っており、ほかの医療機関（歯科受診など）も連携を取っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム看護師や医療連携担当看護師に状況報告や医療面の相談をし、生活の中での保健指導や対応の仕方の指導を受けながら、利用者に対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の地域連携室担当者へ情報提供を送り又入院時の状況把握のため、病院訪問を行い必要時はMSWへ連絡等取りながら病院化えら直接ホームへ帰居できるように取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に書面にて重度化や看取りの対応指針を説明し同意を頂くと共に、対応指針を一部お渡ししている。同敷地内に医療機関があり、重度化の時点で主治医・医療連携看護師・職員を含め、ご家族の方針を共有し取り組んでいくようにしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホームにAED設置がしてあり、毎月ミーティングの際に取り扱い実施の研修を行っている。又年に1回は専門業者によるレクチャーも行っている。年2回救急蘇生法の研修も行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は消防署の協力を得て避難訓練（昼・夜間想定）避難経路の確認・消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている。地域の方の助言により各ユニット内に拡声器の設置を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人的環境的要因を適切に把握する努力をし、個々人にあった対応を心がけている。入職時オリエンテーションで個人情報保護について研修を行い、誓約書に署名捺印を貰っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定を促す場合には開かれた質問形式で、自己決定がしやすいように職員全員に指導し実施している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の言動を最優先しながら日常の支援を個別的に行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣時や入浴前には御自分で何を着たいのか、衣類の選択がしやすいように職員は見守りを行い衣服のバランス等の調整を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は有るがその日に食べたいものの確認を行い希望があれば献立の変更を行い、又 茶碗やお箸や湯のみは在宅時に利用していたものを引き続き利用していただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時の摂取量の把握と記録を行っている。又毎週日曜日に体重測定を行い増減については管理者や主治医に報告を行い、指示に対応している。一日6回は確実に水分補給を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛け誘導を行い個別にたいおうしている。就寝前には義歯の洗浄や洗浄剤に保管した口腔内の状態の確認も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツ使用の方も排泄チェック表にてご本人の排泄パターンを知り、それに応じた排泄誘導を日夜行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの取れた食材を（繊維質の多い野菜や海藻類・乳製品）取り入れおり、運動は散歩や毎日の生活リハに取り組んでいる。又排便確認を毎日行い、便秘の方には職員や医療連携看護師が主治医の指示の下、対応している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ゆっくり時間をかけて個別に対応し、入浴中に手すりをつかみ運動をして頂いている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個人差があり、深夜までテレビを見たり又、暖かい飲み物などをお出して眠れる時間まで一緒に過ごし話相手となり不安の除去に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者各人の服薬内容が簡単に確認できるようにファイルを作成している。服薬は3回確認のルールを作り、一人分ずつ手に取り、誤薬防止に努めている。法人では医療介護安全対策委員会の中で意識を高めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の得意な事を把握し、個別の役割分担を行い、終了時には感謝の気持ちを必ずお伝えする事に行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	短時間の外出は職員と出かけている。又個別の墓参りなどについては、ご本人の要望があった場合はご家族へ報告と相談を行い、実現できるように援助を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近隣にスーパーやコンビニエンスストアができた為に以前より簡単に買い物外出ができるようになっていて、預かり金の中から本人がほしいものを選んで買えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	気軽に電話を利用できる雰囲気作りをしており、電話中はそっと席をはずすなど配慮を心がけている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物は眺めがよく、日当たりもいいので、カーテン等により日当たりの調整を行っている又季節の花や観葉植物を設置し集団手作業で作成した作品や行事写真も飾っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや和室があり各人が思い思いに安全に過ごせるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れたもの（家具や装飾品など）を居室に置き、住み慣れた環境に近いものになるようにご家族にも協力を頂いている。又居室担当者は細かい部分の環境整備に努め情報を共有している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は全てバリアフリーになっており要所には手すりの設置やトイレは自動照明で、安全確保に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 きむら(すみれ)

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない